

XII 看護技術と到達度

1 看護技術の到達度の考え方

- (1) 到達度とは、学生が卒業までに経験し、到達されるべき技術レベルを明らかにしたものである。
- (2) 厚生労働省の看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインで定められた「看護師に求められる実践能力と卒業時到達目標と到達度」をもとに、当課程の各看護学の看護技術項目を抽出し、国が求める卒業時の到達度と照合のうえ、実習で到達すべきレベルを3段階に設定した。

なお、当課程独自で設定している看護技術項目もある。

卒業時実習到達度レベル		到達度の考え方
I	単独で実施できる	実施しようとする技術が対象の状態に適しているか、学生が主体となりアセスメントでき、適切な援助の方法を選択し、患者・家族の承諾を得て単独で実施できる。
II	看護師と教員の指導の下で実施できる	実施しようとする技術が対象の状態に適しているかアセスメントでき、指導をうけて適切な援助の方法を選択・実施できる。
III	実施が困難な場合は見学する。	見学等により理解できる。 対象に実施されている技術が対象の状態に適しているか、指導をうけてアセスメントでき、適切な援助の方法を述べることができる。

2 看護技術到達度表の使用方法

- (1) 各看護学実習で、それぞれの項目の到達度をめざし、積極的に看護技術を見学又は実施する。
- (2) 領域実習前に看護技術到達度表のすべての項目について、〔■卒業時の到達度レベル〕<実習>1～3に照らし記入し、現状の到達度を把握する。
- (3) 各看護学実習中に見学又は実施した項目に、I～IIIの到達度レベルを記入する。
- (4) 各看護学実習のスケジュールに従い、臨地実習指導者と担当教員に確認・押印をうける。
- (5) 各学年の年度末の指定された期日に、看護技術到達度表のすべての項目について、〔■卒業時の到達度レベル〕<実習>I～IIIに照らし、枠内に該当する番号を記入する。その後、学年担当教員へ提出する。
- (6) 実習終了後は、自己管理する。
(※ なお、就職時に提出を求められることがあるため、卒業・就職まで大切に管理・保管すること。)

看護技術到達度表

茨城県立看護大学校

看護学科

氏名:

■卒業時到達レベル <演習> I:モデル人形もしくは学生間で単独で実施できる II:モデル人形もしくは学生間で指導の下で実施できる <実習> I:単独で実施できる II:看護師と教員の指導の下で実施できる III:実施が困難な場合は見字する			臨地実習指導者サイン																				
			教員サイン																				
			実習時期		~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	~ / ~	1年次	2年次	領域実習前	3年次	4年次
項目	技術の種類	※学内演習実地	関連する科目	卒業時の到達度		基礎II	基礎III	基礎IV	地・在I	地・在II	成人・老年I	成人・老年II	老年	小児	母性	精神	統合I	統合II					
				演習	実習																		
境 域 調 整 環 境	1	快適な療養環境の整備	演習	看基技 I 地・在援 III	I	I																	
	2	臥床患者のリネン交換	演習	日援 II	I	II																	
食 事 の 援 助	3	食事介助(嚥下障害のある患者を除く)	演習	日援 I	I	I																	
	4	食事指導	演習	看基技 II	II	II																	
	5	経管栄養法による流動食の注入	演習	日援 I 地・在援 III	I	II																	
排 泄 援 助 技 術	6	経管胃チューブの挿入	演習	日援 I 地・在援 III	I	III																	
	7	排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等)	演習	日援 I・小児援 II 地・在援 III	I	II																	
	8	膀胱留置カテーテルの管理	演習	日援 I 地・在援 III	I	III																	
	9	導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入	演習	日援 I 地・在援 III	II	III																	
	10	洗腸	演習	日援 I	I	III																	
活 動 ・ 休 息 援 助	11	摘便	演習	日援 I 地・在援 III	I	III																	
	12	ストーマ管理	演習	日援 I 地・在援 III 慢性期看 II	II	III																	
	13	車椅子での移送	演習	看基技 I	I	I																	
	14	歩行・移動介助	演習	看基技 I	I	I																	
	15	移乗介助	演習	看基技 I	I	II																	
	16	体位変換・保持	演習	看基技 I	I	I																	
	17	自動・他動運動の援助		リハビリテーション看護	I	II																	
	18	ストレッチャー移送	演習	看基技 I	I	II																	
援 助 清 潔 技 術 ・ 衣 生 活	19	足浴・手浴	演習	日援 II	I	I																	
	20	整容	演習	日援 II	I	I																	
	21	点滴・ドレーン等を留置していない患者の寝衣交換	演習	日援 II	I	I																	
	22	入浴・シャワー浴の介助		日援 II	I	II																	
	23	陰部の保清	演習	日援 II	I	II																	
	24	清拭	演習	日援 II	I	II																	
	25	洗髪	演習	日援 II	I	II																	
	26	口腔ケア	演習	日援 II	I	II																	
整 え る 呼 吸 ・ 循 環 を	27	点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換	演習	小児援助 II	I	II																	
	28	新生児の沐浴・清拭	演習	母性援演	I	III																	
	29	体温調整の援助		診療 I	I	I																	
	30	酸素吸入療法の実施	演習	診療 I 小児援 II	I	II																	
	31	ネブライザーを用いた気道内加湿	演習	診療 I 小児援 II	I	II																	
	32	口腔内・鼻腔内吸引	演習	診療 I	II	III																	
	33	気管内吸引	演習	診療 I	II	III																	
	34	体位ドレナージ	演習	診療 I	I	III																	

